

関係団体 御中

宮崎県中学校体育連盟会長
〔 公 印 省 略 〕

令和8年度宮崎県中学校体育連盟主催大会における地域クラブ活動の参加について（通知）

時下 皆様方におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本連盟の諸事業に対しまして、深い御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度より、地域クラブ活動の参加を認めて大会運営を行っております。その中で、地域クラブ活動の取扱いや大会参加条件等、様々な課題が生じております。それらの課題に対して理事会（5月・9月・1月）や競技専門部会（6月・10月）、理事・専門部合同会（12月）を通して整理し、1月30日の評議員会をもって令和8年度の基本方針を決定したところです。

令和8年度の地域クラブ活動参加に伴う流れを下記の通りに計画しておりますので、御覧ください。

なお、令和8年度以降も様々な状況に対応し、大会開催基準等の見直しを積極的に行ってまいりますので、御理解と御協力をお願ひいたします。

記

1 県総合体育大会・県秋季体育大会とともに地域クラブ活動は、県大会からの出場とします。

2 出場枠を設け、競技団体から推薦していただく競技と、各クラブから出場する競技があります。

〔競技団体からの推薦競技〕

- バレーボール
- 軟式野球
- ソフトテニス
- 卓球
- サッカー
- バスケットボール
- 剣道（総合）
- ソフトボール女子（総合）
- バドミントン
- ハンドボール
- テニス

〔各クラブから出場する競技〕

- 陸上競技
- 水泳競技
- 弓道
- 柔道
- 剣道（秋季）
- 相撲
- 体操競技
- 新体操
- ソフトボール男子
- ソフトボール女子（秋季）
- ジュニア・ラグビー
- 空手道
- 駅伝

3 各競技出場枠については、県総合体育大会開催基準【別紙1】、県秋季体育大会開催基準【別紙2】を参照ください。

4 各競技の出場条件詳細については、各競技細則【別紙3】を参照ください。

5 推薦競技については、県総合体育大会は、令和8年5月末までに予選会を実施していただきます。
また、県秋季体育大会は、令和8年9月末までに予選会を実施していただきます。

6 所属地域クラブ活動、または在籍中学校のどちらかでの申込（エントリー）となります。

7 地域クラブ活動予選会に申込（エントリー）した選手は、在籍中学校から地区大会・県大会ともに参加することはできません。

その他、手続き等に関する詳細は、地域クラブ活動の参加に伴う流れ【別紙4】及び宮崎県中学校総合体育大会及び秋季体育大会の参加について【別紙5】を参照ください。

8 今年度より「地域クラブ活動」認定申請を本連盟にて行います。詳細は、「地域クラブ活動」認定申請手続きのご案内【別紙6】を参照ください。

※ 今後毎年、日本中体連や九州中体連からの通知を受けて、大会の形が変更していくことが予想されますので、御了承ください。また、最新の情報は、県中体連ホームページを御覧ください。

【別紙資料】

- 第77回宮崎県中学校総合体育大会開催基準【別紙1】
- 第50回宮崎県中学校秋季体育大会開催基準【別紙2】
- 令和8年度宮崎県中学校体育大会地域クラブ活動の参加の特例各競技細則【別紙3】
- 令和8年度宮崎県中学校体育大会地域クラブ活動の参加に伴う流れについて【別紙4】
- 令和8年度宮崎県中学校総合体育大会及び秋季体育大会の参加について【別紙5】
- 令和8年度宮崎県中学校体育連盟「地域クラブ活動」認定申請手続きのご案内【別紙6】

【通知先】

- 各教育事務所
- 各市町村教育委員会
- 県内中学校
- 各総合型地域スポーツクラブ
- 各スポーツ少年団
- 各競技団体

第77回 宮崎県中学校総合体育大会開催基準

1 目的

宮崎県中学校総合体育大会は、本県中学生最高のスポーツの祭典であり、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツの機会を与え、体育の振興と体力・技能の向上とスポーツ精神を涵養するものである。また、生涯スポーツの観点に立ち、運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わう基礎づくりを図り、心身ともに健全な中学生を育成するとともに、生徒相互の親睦融和を図るものである。

2 主 催

宮崎県教育委員会 宮崎県中学校長会
宮崎県中学校体育連盟 会場地教育委員会

3 後 援

宮崎県市町村教育委員会連合会 (公財) 宮崎県スポーツ協会 関係競技団体

4 主 管

宮崎県中学校体育連盟

5 開催競技

[男子競技] 陸上競技、水泳競技、バレーボール、軟式野球、ソフトテニス、卓球、弓道
サッカー、バスケットボール、柔道、剣道、新体操・体操、相撲、ソフトボール
バドミントン、ハンドボール、ジュニア・ラグビー、テニス、空手道、駅伝競走
(合計: 20競技)
※ 軟式野球、サッカー、相撲、ジュニア・ラグビーについては女子の参加も認める。

[女子競技] 陸上競技、水泳競技、バレーボール、ソフトテニス、卓球、弓道、
バスケットボール、柔道、剣道、新体操・体操、ソフトボール、バドミントン
ハンドボール、テニス、空手道、駅伝競走
(合計: 16競技)

6 会 期

競技の開催期間は、3日以内を原則とする。
(但し、競技によっては、天候や選手の安全面から別途配慮する。)
総合体育大会 令和8年6月27日(土)～7月27日(月)
※ 駅伝競走大会 令和8年11月6日(金)

7 会 場

会場については、県内全域を対象とする。
※ 生徒の安全を優先させるため空調の施設等を考慮しながら柔軟に対応する。

8 参加資格

【中学校単位での参加】

- (1) 参加者は、各地区中体連に加盟した学校に在学し、学校教育法に基づく当該校の生徒であり、
学校長が認めた生徒であること。
※ 同競技において、地区大会敗退後の転校による県大会への参加は認めない。
- (2) 参加者及び参加チームには、学校長が認めた当該校の教員又は部活動指導員が必ずつくこと。
- (3) 参加者は各地区中体連の主催する大会において、県大会の出場資格を得たチーム又は個人とす
る。但し、学校単位参加は除く。
- (4) チーム編成は、單一校で編成されていること。
- (5) 部長・監督・コーチは出場校の教職員又は部活動指導員とするが、評議員会において承認され
た指導者(監督・コーチ)については可とする。但し、必ず許可証を携帯すること。
- (6) チーム編成において、マネージャー及びスコアラーは生徒とする。
- (7) 県大会出場者は、大会前に健康診断を受けておくこと。
- (8) 市町村教育委員会等が認定した拠点校部活動は、参加を認める。
- (9) 参加資格の特例
部員不足による合同チームでの参加申請があり、別に定める複数校合同チーム編成規定に適合
すると地区中体連会長及び県中体連会長が認めた場合、合同チームでの参加を認める。
- (10) 参加登録については、一競技のみとする。ただし、相撲競技・駅伝競走においては二重登録を
認める。また、出場は学校からか地域クラブ活動からかどちらかとする。

【地域クラブ活動での参加】

- (1) 参加者は、競技団体に登録されており、かつ各地区中体連に加盟した中学生であること。
- (2) 参加者及び参加チームには、団体代表者が認めた指導者が必ずつくこと。
- (3) 指定された競技については、競技団体からの推薦を受け、出場資格を得たチーム又は個人とす
る。
- (4) チーム編成は、單一団体で編成されていること。
- (5) チーム編成において、マネージャー及びスコアラーは中学生とする。
- (6) 参加者は、大会前に健康診断を受けておくこと。
- (7) 参加登録については、一競技のみとする。ただし、相撲競技・駅伝競走においては二重登録を
認める。また、出場は学校からか地域クラブ活動からかどちらかとする。

9 参 加 料

登録選手(マネージャー・スコアラー含む) 1競技につき一人当たり1,000円とす
る。申込後の返金はしない。

10 参加制限

【中学校単位での参加】

(1) 団体競技・種目の参加チーム数は以下の表のとおりとする。

競技名	各地区中体連	備考
バレーボール	地区代表・比例代表制	
軟式野球	地区代表・比例代表制	
ソフトテニス	地区代表・比例代表制	
卓球	地区代表・比例代表制	
サッカー	地区代表・比例代表制	
バスケットボール	地区代表・比例代表制	
剣道	地区代表・比例代表制	
ソフトボール(女子)	地区代表・比例代表制	女子のみ
バドミントン	地区代表・比例代表制	
駅伝競走	地区代表・比例代表制	
柔道	学校単位参加	各学校出場枠 1 チーム
ソフトボール(男子)		
ジュニア・ラグビー		各学校出場枠男女各 1 チーム
弓道		
新体操・体操競技		
ハンドボール		
テニス		
空手道		各学校出場枠 3 チーム
相撲		

(2) 個人競技・種目の参加数は、以下のとおりとする。

競技名	各地区中体連	宮崎地区中体連	備考
陸上競技	・指定出場枠 ・参加標準記録突破		・1種目1校2名以内 ・一人2種目以内(リレーを除く)
水泳競技	学校単位参加		・1種目内の制限は設けない ・一人2種目以内 (リレー・メドレーリレーを除く)
ソフトテニス	比例代表制		男女各
卓球	比例代表制		男女各
弓道	団体戦出場者及び団体戦に出場できない学校の男女各1名		
柔道	学校単位参加		各階級参加数制限なし
剣道	比例代表制		男女各
相撲	各学校12名以内		
体操競技	各学校男女各5名以内		
新体操	各学校男女各5名以内		
バドミントン	比例代表制		男女各(シングルス・ダブルスとも)
テニス	各学校シングルス3名以内、ダブルス5組以内		男女共(※シングルス・ダブルスは兼ねない)
空手道	各学校男女各8名以内		組手・形

【地域クラブ活動での参加】

団体・個人の参加チーム数は以下の表のとおりとする。

※ 前年度の宮崎県中学校秋季体育大会において、地域クラブ活動が1・2位となった場合、推薦競技の地域クラブ活動の団体参加チーム数は「2チーム」となる。

競技名	団体	個人
陸上競技	・各クラブ一人2種目以内および1種目につき2名以内。ただし、参加標準記録を突破していること。 ・リレーは各クラブ男女各1チーム。	
水泳競技	・各クラブ一人2種目以内。 ・1種目内の制限は設けない。 ・リレーは各クラブ男女各1チーム。（フリーリレー・メドレーリレーともに）	
バレーボール	男女各1チーム（推薦競技）	
軟式野球	1チーム（推薦競技）	
ソフトテニス	男女各1チーム（推薦競技）	男女各2ペア
卓球	男女各1チーム（推薦競技）	男女各2名
弓道	各クラブ男女各1チーム	各クラブ男女各1名（団体の編成ができない場合のみ）
サッカー	1チーム（推薦競技）	
バスケットボール	男女各1チーム（推薦競技）	
柔道	各クラブ男女各1チーム	各階級参加数制限なし
剣道	男女各1チーム（推薦競技）	男女各2名
相撲	各クラブ3チーム	各クラブ12名以内
体操	各クラブ男女各1チーム (登録メンバーは同一学校)	各クラブ男女各5名以内
新体操 男子	各クラブ1チーム	各クラブ5名以内
新体操 女子	各クラブ1チーム (登録メンバーは同一学校)	各クラブ5名以内
ソフトボール	男：各クラブ1チーム 女：1チーム（推薦競技）	
バドミントン	男女各1チーム（推薦競技）	ダブルス：男女各2ペア シングルス：男女各2名
ハンドボール	男女各1チーム（推薦競技）	
ジュニア・ラグビー	各クラブ1チーム	
テニス	男女各1チーム（推薦競技） (登録メンバーは同一学校)	ダブルス：男女各2ペア (登録メンバーは同一学校) シングルス：男女各2名
空手道	組手・形ともに各クラブ男女各1チーム	組手・形ともに各クラブ男女各8名
駅伝競走	各クラブ男女各1チーム。ただし、登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限る。	

11 大会実施要項の作成

- (1) 大会要項は各競技専門部で作成し、評議員会で決定する。
- (2) 大会要項は具体的であり、いずれの人にも理解できるようにする。

12 大会役員 別に定める。

13 参加申し込み

【中学校単位での参加】

- (1) 大会要項規定により参加資格を得たチーム及び個人は、所定の参加申し込み用紙に当該学校長の承認を得て、各地区中体連会長に3部提出する。
- (2) 提出を受けた各地区中体連は、競技ごとに取りまとめ、署名捺印し、所定の期日までに2部を宮崎県中学校体育連盟事務局に提出する。
- (3) 申し込み締切後の選手及び監督等の変更については、所定の変更届によって監督会を最終とし変更することができる。
- (4) 九州大会・全国大会の出場権を得ても、大会への出場ができないことが予めわかっている場合は申込時に申し出ること。

【地域クラブ活動での参加】

- (1) 大会要項規定により参加資格を得たチーム及び個人は、所定の参加申し込み用紙に代表者の承認を得て、県中体連会長に2部提出する。参加料については指定口座に振り込むこと。
- (2) 申し込み締切後の選手及び監督等の変更については、所定の変更届によって監督会を最終として変更することができる。
- (3) 九州大会・全国大会の出場権を得ても、大会への出場ができないことが予めわかっている場合は申込時に申し出ること。

14 表彰

- (1) 団体競技優勝チームには優勝旗及び賞状を、2位～3位には賞状を授与する。但し、決勝リーグを実施する競技は4位まで表彰できる。
- (2) 団体競技1位～3位入賞チーム登録全選手に賞状を授与する。但し、決勝リーグを実施する競技は4位まで表彰できる。
- (3) 個人戦1位～3位選手に賞状を授与する。

15 組合せ

- (1) 宮崎県中学校総合体育大会の組合せは、オープン抽選を原則とする。但し、団体戦でシード制を導入する場合は、宮崎県中学校秋季体育大会1位・2位地区及び地域クラブ活動の代表チームと県中学校体育連盟競技専門部で検討・承認した（地域クラブ活動を含む）2チーム計4チームまでをシードできる。また、県大会直通競技において、団体戦でシード制を導入する場合は、宮崎県中学校秋季体育大会1位・2位の学校及び地域クラブ活動と県中学校体育連盟競技専門部で検討・承認した（地域クラブ活動を含む）2チーム計4チームまでをシードできる。尚、シード順位については、競技専門部及び理事会で検討し決定する。
- (2) 個人戦でシード制を導入する場合は、九州中学校体育大会の参加数までとする。

16 その他

【中学校単位での参加】

- (1) 学校単位参加とは、地区代表制でなく、各学校単位で県大会に参加できることを意味する。
- (2) 団体戦及び個人戦の比例代表枠の基準は、地区大会団体戦申込校数による。
- (3) 学校が統合された場合、団体戦及び個人戦の比例代表枠の基準は、該当地区の前年度地区秋季大会団体戦参加校数による。

【地域クラブ活動での参加】

- (1) 責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険（スポーツ安全保険）等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- (2) 県中体連の開催基準および出場競技要項・細則に従い、大会の円滑な運営に協力すること。
- (3) 大会参加申込に当たっては、宮崎県中学校体育連盟ホームページを参照すること。

第50回 宮崎県中学校秋季体育大会開催基準

1 目的

宮崎県中学校秋季体育大会は、中学校1・2年生を対象とした大会であり、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツの機会を与え、体育の振興と体力・技能の向上とスポーツ精神を涵養するものである。また、生涯スポーツの観点に立ち、運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わう基礎づくりを図り、心身ともに健全な中学生を育成するとともに、生徒相互の親睦融和を図るものである。

2 主 催

宮崎県教育委員会
宮崎県中学校体育連盟

宮崎県中学校長会
会場地教育委員会

3 後 援

宮崎県市町村教育委員会連合会 (公財) 宮崎県スポーツ協会 関係競技団体

4 主 管

宮崎県中学校体育連盟

5 開催競技

[男子競技]

陸上競技、水泳競技、バレーボール、軟式野球、ソフトテニス、卓球、弓道、サッカー、バスケットボール、柔道、剣道、新体操・体操、相撲、ソフトボール、バドミントン、ハンドボール、ジュニア・ラグビー、テニス、空手道
(合計: 19競技)

※ 軟式野球、サッカー、相撲、ジュニア・ラグビーについては女子の参加も認める。

[女子競技]

陸上競技、水泳競技、バレーボール、ソフトテニス、卓球、弓道、バスケットボール、柔道、剣道、新体操・体操、ソフトボール、バドミントン、ハンドボール、テニス、空手道
(合計: 15競技)

6 会 期

競技の会期は最大2日半とし、原則16チーム以内の団体戦は2日間以内で消化する。
尚、荒天等による延期は、最大1日とする。

秋季体育大会 令和8年10月17日(土)～11月2日(月)

※ 水泳競技・・・令和8年10月3日(土)

7 会 場

会場については、県内全域を対象とする。

8 参加資格

【中学校単位での参加】

- (1) 参加者は、各地区中体連に加盟した学校に在学し、学校教育法に基づく当該校の生徒であり、学校長が認めた生徒であること。
- (2) 参加者及び参加チームには、学校長が認めた当該校の教員又は部活動指導員が必ずつくこと。
- (3) 参加者は各地区中体連の主催する大会において、県大会の出場資格を得たチーム又は個人とする。但し、学校単位参加は除く。
- (4) チーム編成は、單一校で編成されていること。
- (5) 部長・監督・コーチは出場校の教職員又は部活動指導員とするが、評議員会において承認された指導者(監督・コーチ)については可とする。但し、必ず許可証を携帯すること。
- (6) チーム編成において、マネージャー及びスコアラーは生徒(1・2年生)とする。
- (7) 県大会出場者は、大会前に健康診断を受けておくこと。
- (8) 市町村教育委員会等が認定した拠点校部活動は、参加を認める。
- (9) 参加資格の特例
部員不足による合同チームでの参加申請があり、別に定める複数校合同チーム編成規定に適合する旨地区中体連会長及び県中体連会長が認めた場合、合同チームでの参加を認める。
- (10) 参加登録については、一競技のみとする。ただし、水泳競技・相撲競技においては二重登録を認める。

【地域クラブ活動での参加】

- (1) 参加者は、競技団体に登録されており、かつ各地区中体連に加盟した中学生であること。
- (2) 参加者及び参加チームには、団体代表者が認めた指導者が必ずつくこと。
- (3) 指定された競技については、競技団体からの推薦を受け、出場資格を得たチーム又は個人とする。
- (4) チーム編成は、單一団体で編成されていること。
- (5) チーム編成において、マネージャー及びスコアラーは中学生(1・2年生)とする。
- (6) 参加者は、大会前に健康診断を受けておくこと。
- (7) 参加登録については、一競技のみとする。ただし、水泳競技・相撲競技においては二重登録を認める。また、出場は学校からか地域クラブ活動からどちらかとする。

9 参加料 参加料は、徴収しない。

10 参加制限

【中学校単位での参加】

(1) 秋季体育大会団体競技・種目の参加チーム数は以下の表の通りとする。

競技名	各地区中体連	備考
バレーボール	地区代表・比例代表制	学校単位参加
軟式野球	地区代表・比例代表制	
ソフトテニス	地区代表・比例代表制	
卓球	地区代表・比例代表制	
サッカー	地区代表・比例代表制	
バスケットボール	地区代表・比例代表制	
バドミントン	地区代表・比例代表制	
柔道		
剣道		
ソフトボール		
ジュニア・ラグビー		
弓道		
新体操・体操競技		
ハンドボール		
テニス		
空手道		
相撲		

(2) 秋季体育大会個人競技・種目の参加数は、以下の通りとする。

競技名	各地区中体連	宮崎地区中体連	備考
陸上競技	・参加標準記録突破(R8.4.1~10.4) ・棒高跳、リレー、OP種目は参加標準記録を設けない ・リレーは1校1チーム	・1種目1校3名以内 ・一人2種目以内 (リレーを除く) ・OP種目は1校2名以内	
水泳競技	・1種目内の制限は設けない。 ・一人2種目以内(リレー・メドレーリレーを除く)		
ソフトテニス	比例代表制	男女各	
卓球	比例代表制	男女各	
弓道	団体戦出場者及び団体戦に出場できない学校の男女各1名		
柔道	学校単位参加	各階級参加数制限なし	
剣道	比例代表制	男女各	
相撲	各学校12名以内		
体操競技	各学校男女各5名以内		
新体操	各学校男女各5名以内		
バドミントン	比例代表制	男女各(シングルス・ダブルスとも)	
テニス	各学校シングルス3名以内、ダブルス5組以内	男女共(※シングルス・ダブルスは兼ねない)	
空手道	各学校男女各8名以内	組手・形	

【地域クラブ活動での参加】

団体・個人の参加チーム数は以下の表のとおりとする。

競技名	団体	個人
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 各クラブ一人2種目以内および1種目につき3名以内。ただし、参加標準記録を突破していること。(R8.4.1~10.4) 棒高跳、リレー、OP種目は参加標準記録を設けない。 OP種目は1チーム2名以内。 リレーは各クラブ男女各1チーム。 	
水泳競技	<ul style="list-style-type: none"> 各クラブ一人2種目以内。 1種目内の制限は設けない。 リレーは各クラブ男女各1チーム。(フリーリレー・メドレーリレーともに) 	
バレーボール	比例代表制(上限設定)	
軟式野球	比例代表制(上限設定)	
ソフトテニス	比例代表制(上限設定)	比例代表制(上限設定)
卓球	比例代表制(上限設定)	比例代表制(上限設定)
弓道	各クラブ男女各1チーム	各クラブ男女各1名(団体の編成ができない場合のみ)
サッカー	比例代表制(上限設定)	
バスケットボール	比例代表制(上限設定)	
柔道	各クラブ男女各1チーム	各階級参加数制限なし
剣道	各クラブ男女各1チーム	比例代表制(上限設定)
相撲	各クラブ3チーム	各クラブ12名以内
体操	各クラブ男女各1チーム (登録メンバーは同一学校)	各クラブ男女各5名以内
新体操 男子	各クラブ1チーム	各クラブ5名以内
新体操 女子	各クラブ1チーム (登録メンバーは同一学校)	各クラブ5名以内
ソフトボール	男:各クラブ1チーム 女:各クラブ1チーム	
バドミントン	比例代表制(上限設定)	比例代表制(上限設定)
ハンドボール	比例代表制(上限設定)	
ジュニア・ラグビー	各クラブ1チーム	
テニス	比例代表制(上限設定) (登録メンバーは同一学校)	比例代表制(上限設定) (登録メンバーは同一学校)
空手道	組手・形とともに 各クラブ男女各1チーム	組手・形とともに 各クラブ男女各8名

11 大会実施要項の作成

- (1) 大会要項は各競技専門部で作成し、評議員会で決定する。
- (2) 大会要項は具体的にし、いずれの人にも理解できるようにする。

12 大会役員 別に定める。

13 参加申し込み

【中学校単位での参加】

- (1) 大会要項規定により参加資格を得たチーム及び個人は、所定の参加申し込み用紙に当該校長の承認を得て、各地区中体連会長に3部提出する。
- (2) 提出を受けた各地区中体連は、競技ごとに取りまとめ、署名捺印し、所定の期日までに2部を宮崎県中学校体育連盟事務局に提出する。
- (3) 申し込み締切後の選手及び監督等の変更については、所定の変更届によって監督会を最終として変更することができる。

【地域クラブ活動での参加】

- (1) 大会要項規定により参加資格を得たチーム及び個人は、所定の参加申し込み用紙に代表者の承認を得て、県中体連会長に2部提出する。
- (2) 申し込み締切後の選手及び監督等の変更については、所定の変更届によって監督会を最終として変更することができる。

14 表彰

- (1) 団体競技優勝チームには優勝旗及び賞状を、2位～3位には賞状を授与する。但し決勝リーグを実施する競技は4位まで表彰できる。
- (2) 団体競技1位～3位入賞チーム登録全選手に賞状を授与する。但し、決勝リーグを実施する競技は4位まで表彰できる。
- (3) 個人戦1位～3位選手に賞状を授与する。

15 組合せ

宮崎県中学校秋季体育大会の組合せは、オープン抽選とする。但し、同地区及び地域クラブ活動同士が同ブロックに入らないように配慮する。
また、競技によっては、地区大会1位及び地域クラブ活動予選1位チーム同士が初戦で対戦しないように配慮する。

16 その他

【中学校単位での参加】

- (1) 学校単位参加とは、地区代表制でなく、各学校単位で県大会に参加できることを意味する。
- (2) 団体戦及び個人戦の比例代表枠の基準は、地区大会団体戦申込校数による。

【地域クラブ活動での参加】

- (1) 責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険（スポーツ安全保険）等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- (2) 県中体連の開催基準および出場競技要項・細則に従い、大会の円滑な運営に協力すること。
- (3) 大会参加申込に当たっては、宮崎県中学校体育連盟ホームページを参照すること。

令和8年度 宮崎県中学校体育大会 地域クラブ活動の参加の特例 各競技細則

【共通事項】

- ◎ 宮崎県在籍から他県の中総体へ参加することはできません。また、他県在籍から宮崎県中総体への参加はできません。
- ◎ 県大会からの出場になります。地区大会への出場はできません。
- ◎ 同一団体から複数チームの参加はできません。
- ◎ 県大会申込から九州大会・全国大会まで、出場団体の変更はできません。（中総体）
- ◎ 複数チームへの監督・コーチの登録はできません。（新体操・体操のコーチは複数チームへの登録を認めます。）
- ◎ 「令和8年度全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例競技部細則」に準じます。

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体（リレー）出場の条件	地域クラブ活動の協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
		個人	団体（リレー）		個人	団体		
1	陸上	○	△	<p>リレー・駅伝は、「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」または、「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」で参加できる。以下の要件を満たす場合は、参加することができる。</p> <p>(1)「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合。</p> <p>(2)在籍している学校に希望する部活動がないこと等の場合において、宮崎県中学校体育連盟が都道府県をまたいだ大会参加を認めている場合。</p>	(公財) 日本陸上競技連盟への登録	(公財) 日本陸上競技連盟への団体登録	JSPO公認指導者資格 ※令和8年度中取得見込みも可	<ul style="list-style-type: none"> ●複数の種目（リレーを含む）に出席する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連陸上専門部が行う。
	駅伝		△					<ul style="list-style-type: none"> ●複数の所属から参加することはできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連陸上専門部が行う。
2	水泳	○	○		(公財) 日本水泳連盟への団体登録			
3	バスケットボール		△	「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために設置されている」「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」は参加可。ただし、対象の地域クラブ活動は単独又は複数の中学校単位で編成されており、日常的に活動が持続されている場合に限る。なお、複数の中学校から選手を選抜し、編成された地域クラブ活動の出場は認めない。 ※ 詳細は下記参照	JBAへの個人登録	JBAへのチーム登録	JBA公認コーチライセンスを保有していること。 ※令和8年度に限り、E以上保有。令和9年度以降、D以上保有のこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連バスケットボール専門部が行う。
4	サッカー		△	U15チームが「クラブユース連盟に加盟していないこと。（クラブユース連盟に所属しているクラブ内からは、U15チーム及びセカンドチームも出場できない）	(公財) 日本サッカー協会への個人登録	(公財) 日本サッカー協会へのチーム登録		
5	ハンドボール		○		(公財) 日本ハンドボール協会への個人登録	(公財) 日本ハンドボール協会へのチーム登録	以下のいずれかの資格保有者を必須とする。 JSPOコーチ1～4 JSPOスタートコーチ JSPOスポーツコーチングリーダー JHAビギナーコーチ ※JSPO資格は、他種目でも可 ※全ての資格において、「取得済み」であること。	<ul style="list-style-type: none"> ●日本ハンドボール協会が主催する全国ハンドボール大会および予選大会（地区大会含む）に参加した場合は中学校体育連盟が主催する全国中学校体育大会および予選大会（地区大会含む）への出場は認めない。 ●合同チームについては、宮崎県中学校体育連盟の規定に準ずる。

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体(リレー)出場の条件	地域クラブ活動の協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
		個人	団体(リレー)		個人	団体		
6	軟式野球		○		宮崎県軟式野球連盟への加盟		①日本スポーツ協会公認コーチ1 (軟式野球) ②日本スポーツ協会公認コーチ3 (軟式野球) ③BFJ公認野球指導者基礎 I (U15) ※監督の保有を必須とするが、保有していない場合には、コーチ(日常的に指導に関わり、メンバー登録される者)のうち最低1名の保有を必須とする。	●大会運営、審判員派遣の依頼に対応できる人員を確保している。 ●審判員については、「一般財団法人全日本野球協会アマチュア野球規則委員会公認3級審判員」以上の保有を必須とする。
7	体操	○	△	団体参加の場合は「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域展開の受け皿となっているクラブ活動」又はすべての選手が同一校に在籍していること	宮崎県体操協会への加盟			●宮崎県にブロック大会団体出場枠が複数与えられている場合、少なくとも1枠は学校登録団体とする。学校登録団体がない場合には地域クラブ活動登録団体から補充する。 ●地域クラブ活動に所属していない同一校の他の生徒が学校で団体を組み大会に参加することができる。ただし、同一校生徒により構成された2つの団体のうち上位団体のみがブロック大会に進むことができる。 ●一緒に活動する団体を複数の地域クラブ活動として登録することはできない。 ●複数の地域クラブ活動が一つの団体として登録することはできない。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連体操専門部が行う。
8	新体操 男子	○	○	団体選手は全員が同一学校に在籍しなくてもよいとし、地域クラブ活動単位の出場が可能	日本体操協会の所属団体登録	日本体操協会への指導者登録		●エントリーは、監督及び選手は1人につき一所属とする。 ●同所属からのエントリーのみ個人・団体の両方に登録することができる。 ●監督は日本体操協会への登録を済ませている者で、他の所属の監督としては予選大会に参加できない。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。
	新体操 女子	○	△	団体参加の場合は「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域展開クラブ活動」、「地域展開の受け皿となっているスポーツ団体等」又はすべての選手が同一校に在籍していること	日本体操協会の所属団体登録	日本体操協会への指導者登録		●団体の出場については、各所属から1チームのみとする。同一中学校からの部活動とクラブチームの2チーム出場は、同じ学校から2チームとみなすことができるため出場は不可とする。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連新体操専門部が行う。
9	バレーボール		○	中学校の部活動チームが大会に参加する場合、その中学校の生徒のみで編成された地域クラブ活動の参加は認めない。 ・JVA-MRSの「地域クラブ」として登録されたチーム	JVA-MRSへの個人登録	JVA-MRS「地域クラブ」へのチーム登録	JSPO公認指導者資格(成人) ※令和7年度は、バレーボールスタートコーチとバレーボールコーチ1~4を認めているが、令和10年度以降、バレーボールコーチ1~4を必須とする。	●募集要項やホームページ等で公募していること。 ●年間を通じて、日常持続的(週単位)に練習している場所と所在地が一致していること。 ●チームや団体として規約があること。 ●各種大会に大会役員として派遣できる指導者がいること。 ●全ての選手・スタッフは、予選より全国大会まで、一人同一のチーム登録とし、複数のチームから出場することはできない。
10	ソフトテニス	○	○		(公財)日本ソフトテニス連盟への登録	(公財)日本ソフトテニス連盟への登録	日本スポーツ協会公認「コーチ1以上」、自治体主導で発足した地域クラブ活動のみ「スタートコーチ(競技別)」でも可(チームが認定された初年度のみ取得中の場合でも認める) ※とともにベンチ入りする者の資格も同様	●参加する地域クラブ活動においては、本大会に出場するために設立されたものではなく、「地域」における継続的なスポーツ活動を確保しようとする目的のものであること。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体（リレー）出場の条件	地域クラブ活動の協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
		個人	団体（リレー）		個人	団体		
11	卓球	○	△	団体については、「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動等」とする。	日本卓球協会、宮崎県卓球連盟の登録及び年会費の支払いを行うこと。	日本卓球協会公認スポーツ指導者（卓球公認コーチ1以上）を取得していること。 地域クラブ活動に関わる中学校教職員は取得していなくても構わない。	●代表者、参加要件を満たすために在籍している日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（卓球公認コーチ1以上）及び選手は、他の地域クラブ活動に重複して登録できない。 ●部活動をもっていない中学校教職員は地域クラブ活動の代表者、またはコーチとして地域クラブ活動に関わり大会に参加することができる。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連卓球専門部が行う。	
12	バドミントン	○	○	日本バドミントン協会・宮崎県バドミントン協会会員登録及び年会費支払いを行うこと。	日本バドミントン協会公認審判員資格3級以上を取得していること。（取得が困難な場合は、宮崎県の審判講習会に参加すること） ●日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（バドミントン）資格所持者が最低1名は所属していること。 ※短期間で取得が困難な場合は、団体登録後3年以内に取得することを可とする。 ※スポーツコーチングリーダー、他競技のスタートコーチ・指導者資格、スタートコーチ（ジュニア・ユース）も含む。	●シングルス・ダブルスを兼ねて出場することはできない。 ●代表者・事務担当者・指導者は、成人（20歳以上）とする。 ●1つの活動母体から登録できるのは1チームのみとする。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●全国大会参加申込の際の要件 ・監督・コーチ・マネージャー・個人戦入場許可申請者は、当該地域クラブ活動の所属員（代表者・事務担当者・指導者・所属中学生）とする。 ・当該地域クラブ活動の所属員（代表者・事務担当者・指導者・所属中学生）が全国大会に出場する際、重複して他の地域クラブ活動や中学校の監督・マネージャー・個人戦入場許可申請者になることはできない。		
13	ソフトボール		△	当該年度の「全日本中学生ソフトボール大会」に出場していないこと。（出場の選手・監督・コーチが含まれるチームも不可）	日本ソフトボール協会へのチーム登録	当該年度において、（公財）日本ソフトボール協会「中学生種別」に、当該チームの監督又はコーチとしての登録が必要。 (日本スポーツ協会公認指導者資格を有することが必須)	●同一人物が複数のチームの監督・コーチ・引率者等を兼任してはならない。 ●以下に該当するチームについても当該年度において日本ソフトボール協会にチーム登録し、大会出場時には登録された指導者資格保有者がベンチ入りすることを条件とする。 ・「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」 ・「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」 ・「休日と平日の運営主体が異なり、学校部活動以外で大会に出場するチーム」	
14	柔道	○	○	チーム、競技者として全日本柔道連盟に「団体登録」「競技者登録」を済ませている。	大会の引率、監督、帯同コーチは、全日本柔道連盟公認指導者資格（A. B. C指導員いずれか）を有していなければならない。	●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。		
15	剣道	○	△	団体戦については、自治体主導で発足した地域クラブ活動、地域展開を主目的として発足したクラブ活動、地域のために日常的に活動が継続されているクラブ活動（1年以上の活動実績があり、複数学年の生徒が所属）とする。	中央競技団体もしくは宮崎県剣道連盟に登録されていること。	宮崎県剣道連盟の規程に準ずる。	●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●日本中体連の「参加資格の特例及び細則」、並びに宮崎県中体連の加盟条件を遵守した団体であることが前提であるから、これに反する行動が見られた場合は、県中体連事務局及び県中体連剣道専門部の判断で除名することもある。 ●参加の判断は県中体連事務局及び県中体連剣道専門部が行う。	

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体（リレー）出場の条件	地域クラブ活動の協会・連盟登録の義務		指導者の公認資格	その他の条件
		個人	団体（リレー）		個人	団体		
16	相撲	○	○		中央競技団体もしくは宮崎県相撲連盟に登録されていること。			●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。
17	弓道	○	○		中央競技団体もしくは宮崎県弓道連盟に登録されていること。			●個人戦の参加は、団体編成ができない場合のみに限る。 ●中体連主催大会としては県大会まで。
18	ジュニアラグビー		○		中央競技団体もしくは宮崎県ラグビー協会に登録されていること。	①安全・インテグリティ推進講習会の受講者1名 ②セーフティアシスタンント資格保持者在籍 ③JRFUコーチ資格保有者の在籍1名以上		●中体連主催大会としては県大会まで。
19	テニス	シングルス ○ ダブルス △	△	団体及びダブルスは、登録メンバーが同一学校に限り、地域クラブ活動所属での参加が可能	中央競技団体もしくは宮崎県テニス連盟に登録されていること。			●シングルス・ダブルスを兼ねて出場することはできない。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●中体連主催大会としては九州大会まで。 ●協会主催全国大会は、団体戦の場合、学校名で出場しているチームのみ権利がある。個人戦の場合、学校長が学校名での出場を認めた場合のみ出場できる。
20	空手道	組手 ○ 形 ○	組手 ○ 形 ○		宮崎県空手道連盟に登録された団体・個人であること。	監督は、（公財）全日本空手道連盟に登録している会員であること。		●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●中体連主催大会としては九州大会まで。
21	スキー	○	○		全日本スキー連盟に登録されていること。			複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

【補足説明】

●地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動

⇒運動部活動の地域展開等に関する実践研究・実証事業の対象地区が該当する。ただし、地区は該当していても該当部活動が対象になっていない地区は該当しない。
これとは別に、各市区町村が主導で地域展開を進めている場合にも該当する。

●地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動

⇒単独校での活動が困難であるなどの理由で日常的に活動が持続されており、複数校の生徒が参加する形態で活動している団体を意味する。
あくまで地域展開の受け皿が主目的の団体を対象としているため、複数校から一部の選手のみ選抜された形でのスポーツ団体を意味するものではない。

●バスケットボールの「中学校単位」の解釈

⇒地域クラブ活動の場合、中体連主催大会バスケットボール競技大会に参加を希望する中学校の生徒全員が一つの所属先にいることを示している。チームを構成する学校数に制限は設けないが、大会に参加を希望する生徒全員がそのチームに所属していることが条件である。
つまり、バスケットボール部がない学校毎に所属する地域クラブ活動を一つにまとめることが必要である。

●剣道の「複数学年」について

⇒小学生や高校生も含めて、継続して活動している実態があるクラブであれば、「地域のために日常的に活動している」と判断できると考えている。

令和8年度 宮崎県中学校体育大会 地域クラブ活動の参加に伴う流れについて

年度	総合 秋季	月日	県中体連・各競技専門委員長・各学校の動き	各競技団体・地域クラブ活動の動き
R 7	総合 秋季	10月中	各競技専門委員長が、各競技団体等に対して、R 8 県総合体育大会の参加条件等の説明を行う。	説明を受けた内容を該当地域クラブ活動へ周知する。
	総合 秋季	2月中旬	県中体連が、「地域クラブ活動認定申請手続き」の案内を行う。	
	総合 秋季	3月1日（日） ～8日（日）		「参加認定申請書（様式1）」を県中体連に提出する。
	総合 秋季	3月23日（月）	県中体連が、「令和8年度宮崎県中学校体育連盟総合・秋季体育大会参加認定書」を発送する。	
	総合	4月30日（木）	県中体連が地区中体連を介して「地域クラブ活動予選会出場申込（エントリー）選手一覧（様式Ⅰ）」を各学校へ通知する。 ※各学校は、上記をもとに、二重登録がないようにアナウンスを行う。	「登録選手申請書（様式2）」を県中体連に提出する。 ※地域クラブ活動内で、学校との二重登録がないようにアナウンスを行う。
		5月初旬	地区大会申込締切 (二重登録がないようにアナウンスを行う。)	地区大会申込締切 (二重登録がないようにアナウンスを行う。)
		5月29日（金）	各競技団体からの推薦書を受け、県中体連が地区中体連を介して「各競技団体推薦チーム・推薦個人一覧（様式Ⅱ）」を各学校へ通知する。	
		6月初旬		地区総合体育大会
		6月中旬		県総合体育大会申込締切 ※地域クラブ活動出場チーム・個人は地区中体連にて申込手続きを行う。
		6月23日		県総合体育大会抽選会
		6月27日～		県総合体育大会
		8月3日～		九州総合体育大会
		8月17日～		全国総合体育大会
R 8	秋季	7月31日（金）	県中体連が地区中体連を介して「地域クラブ活動予選会出場申込（エントリー）選手一覧（様式Ⅰ）」を各学校へ通知する。 ※各学校は、上記をもとに、二重登録がないようにアナウンスを行う。	「登録選手申請書（様式3）」を県中体連に提出する。 ※地域クラブ活動内で、学校との二重登録がないようにアナウンスを行う。
		8月21日（金） 提出締切	県秋季水泳大会申込締切 (二重登録がないようにアナウンスを行う。)	県秋季水泳大会申込締切 (二重登録がないようにアナウンスを行う。)
		8月下旬	地区大会申込締切 (二重登録がないようにアナウンスを行う。)	地区大会申込締切 (二重登録がないようにアナウンスを行う。)
		9月30日（水）	各競技団体からの推薦書を受け、県中体連が地区中体連を介して「各競技団体推薦チーム・推薦個人一覧（様式Ⅱ）」を各学校へ通知する。	
		9月下旬		地区秋季体育大会
		10月3日		県秋季水泳大会
		10月初旬	地区駅伝大会申込締切 (二重登録がないようにアナウンスを行う。)	地区駅伝大会申込締切 (二重登録がないようにアナウンスを行う。)
	秋季	10月中旬		県駅伝大会申込締切 ※地域クラブ活動出場チームは地区中体連にて申込手続きを行う。
		10月17日～		県秋季体育大会
	総合	11月6日		県駅伝大会
		11月28日		九州駅伝大会
		12月13日		全国駅伝大会

令和8年度 宮崎県中学校総合体育大会及び秋季体育大会の参加について

宮崎県中学校体育連盟

令和8年度宮崎県中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加について、条件等の整備をおこないました。

下記内容をご確認のうえ、必要書類を県中体連ホームページよりダウンロードし、期限までに手続きをおこなってください。



宮崎県中体連主催大会への参加の仕方は、学校の部活動からの出場か地域クラブ活動からの出場のいずれかです。

子どもたちはどちらで出場するのか保護者と相談し、期限までに選択しなければなりません。

①学校の部活動として参加したい場合

○今まで通り部活動に入部し、各地区大会からの参加となります。(県大会直通競技を除く。)

各地区中体連に割り振られている参加枠数の代表が県総合大会・県秋季大会へ出場します。

②地域クラブ活動として参加したい場合

○地域クラブ活動に所属し、地域クラブ活動で参加することを地域クラブ活動指導者に伝える必要があります。

○県大会からの参加となります。ただし、競技によっては、競技団体主催の予選会が行われる競技があります。その競技については、代表権を得た団体及び個人のみが県大会に参加となります。

③地域クラブ活動所属で学校部活動にも所属している場合

○地域クラブ活動と部活動の競技が同じ場合、日本中体連の特別規定により二重登録となるため、どちらか一方での参加を選択します。

○地域クラブ活動と部活動の競技が異なっている場合、大会へは2種目出場はできない(相撲・駅伝競走除く)ので、どちらか一方での参加を選択します。

地域クラブ活動が県中体連主催大会へ参加するためには参加認定申請が必要です。（県内生徒のみ登録可）手続き等詳細は県中体連HP参照

※【様式1】令和8年3月1日(日)受付開始 申請期限:令和8年3月8日(日)必着

○指導者は生徒がどちらで参加するのか確認をしてください。

○参加条件を満たしていない地域クラブ活動は、申請をおこなっても参加できません。

参加を希望する地域クラブ活動の指導者は期限までに申請をおこなってください。

○同時に、必ず各競技団体への登録をおこなうようお願いします。

○二重登録を防ぐために、県中体連では各地域クラブ活動からの参加申請をもとに地域クラブ活動として参加する生徒の名簿を作成します。作成した名簿は、各地区中体連を通じて学校へ送付します。

※【様式2】認定通知書受領後提出 申請期限:令和8年4月30日(木)必着

※【様式3】 申請期限:令和8年7月31日(金)必着

○ご不明な点は宮崎県中学校体育連盟までお問い合わせください。

宮崎県中学校体育連盟 地域クラブ活動申請窓口 TEL(0985)27-8161

事務連絡
2月吉日

チーム代表者様

宮崎県中学校体育連盟
会長 谷口行孝
[公印省略]

令和8年度宮崎県中学校体育連盟
「地域クラブ活動」認定申請手続きのご案内

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素は本連盟の事業に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記申請手続きにつきましてご案内いたします。

諸手続きにつきまして、下記の要領にて進めていただきますようお願い申し上げます。

記

1. 提出書類

「令和8年度 宮崎県中学校体育連盟 地域クラブ活動参加認定申請書」(様式1)

※県中体連ホームページより様式をダウンロードする。

【2月24日(火)からダウンロード可】

2. 提出期限

メール送信

※令和8年3月8日(日)必着 【受付開始を令和8年3月1日(日)】からとする。

3. 提出先

宮崎県中学校体育連盟 事務局

E-mail : myzkjp@miyazaki-catv.ne.jp

4. その他

①参加認定書については、3月末までに代表者宛に連絡する。

②「登録選手申請書」(様式2、3)は団体の認定完了後に提出する。

・「登録選手申請書」(様式2)…令和8年4月30日(木)必着

・「登録選手申請書」(様式3)…令和8年7月31日(金)必着

③登録申請に関する問い合わせについては下記メールアドレス宛てにお問い合わせください。

お電話での対応は致しかねます。

以上

【問合せ先】

〒880-0007

宮崎市原町1番4号

宮崎県中学校体育連盟 事務局

E-mail : myzkjp@miyazaki-catv.ne.jp

認定条件

- 1 宮崎県下の中学校に在籍している生徒であること。
- 2 宮崎県中学校連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- 3 生徒の学齢及び修業年限が我が国の中学校と一致していること（中学校に在籍している生徒であること）。
- 4 本県の各競技団体もしくは中央競技団体に登録し、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者のもとに、適切な指導が行われていること。
- 5 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月スポーツ庁／文化庁）の「2合理的でかつ効率的・効果的な活動推進、3適切な休養日の設定」を遵守していること。
- 6 地域クラブ活動の指導者は各中央競技団体の倫理規定等に基づいて、各競技団体等から処分を受けていないものであること。
- 7 大会において、競技役員や審判などに運営上に必要な事項に協力すること。
- 8 日本中体連バドミントン競技専門部の定める細則を満たしていること。
- 9 参加認定申請書に虚偽の内容が判明した場合、その後の対応は理事会にて協議すること。

8の日本中体連バドミントン専門部の定める細則とは

- 1 協会・登録の義務
 - 日本バドミントン協会・各県協会会員登録及び年会費支払いを行うこと。
- 2 指導者の公認資格
 - 日本バドミントン協会公認審判資格（3級以上）を取得していること。（取得が困難な場合は、各県の審判講習会に参加すること）
 - 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（バドミントン）資格所持者が最低1名は所属していること。
 - ・ 短期間で取得が困難な場合は、団体登録後3年以内に取得することを可とする。
 - ・ スポーツコーチングリーダー、他競技のスタートコーチ。指導者資格、スタートコーチ（ジュニア・ユース）も含み
- 3 その他の条件
 - シングルスとダブルスは兼ねて出場することはできない。
 - 代表者・事務担当者・指導者時は、成人（20歳以上）とする。
 - 1つの活動母体から登録できるのは1チームのみとする。
 - 団体と個人で異なる所属からの出場はできない。
 - 全国大会参加申込の際の要件
 - (1) 監督・コーチ・マネージャー・個人戦入場許可申請者は、当該クラブ活動の所属員（代表者・事務担当者・指導者・所属中学生）とする。
 - (2) 当該地域クラブ活動の所属員（代表者・事務担当者・指導者・所属中学生）が全国大会に出場する際、重複して他の地域クラブ活動や中学校の監督・マネージャー・個人戦入場許可申請者になることはできない。